



1 禁止する前にやるべきことは本当はないか R7年度 2月号

校長 引地 幸二

あるテレビ番組で「家庭のお悩み相談」のようなコーナーをやっていました。ある母親の相談は、「中学生の子供が、学校の宿題のほとんどをAIを使ってあっという間に終わらせている。自分で考えなくて本当に大丈夫か」という内容でした。芸能人や専門家とおぼしき人が、けっこうな時間、それっぽいことを口々に言っていたのですが、結論としては「よくない」ということに落ち着いていました。そりゃあそうだろうと思いました。思いましたが、私の意見は少しだけ違います。

私は「AIは、どしどし使うべし。ただし、自分のアイデアを形にするための道具として使うのであれば」という考えです。

AIに「答えを出してもらおう」という使い方をしていては、大人ですら考える力がますます弱くなってきていると言われているのに、子供がそうならないはずがありません。AI研究で先行するアメリカや中国でも、上記のような問題は起こっているのですが、「自分のアイデアを形にするための道具」としてAIを使っている子は、むしろ思考力が上がっていると言われています。

インターネットが世の中に出てきた時も、今と同じような反応が起こりました。ですが、今ではインターネットが無い世界を想像できないほど浸透しきっていますし、世界を動かす大きな力の一つになっていることは疑いようもない事実です。要は「使い方次第」。

我々、親世代の判断基準の大元は、だいたい20年ほど前の「常識」で形作られていると思います。「そんなことでは社会に出たら通用しないぞ」などと子供に言いがちですが、これから訪れる「未知の社会」を我々親世代が予知できているはずがありません。日本最高峰の教育を受け、現在、日本最先端の企業経営者になっている人達ですら、スマホの出現も、中国の台頭も、急激なグローバル化も、これほど目まぐるしく変化していく世の中になることも、おそらく予見できていなかったと思います。今、最先端の情報を得て、最適と思われる教育を我が子に選べる自信があったとしても、それが20年後に通用しているとは限りません。

「未知の社会」の当事者は、今の子供たちです。「今」を、そしてその先の「未来」を生きていく子供たちが、目の前にある情報や感情、その真偽を自分の力で判断し活用していく。禁止するより、そのような力を育てていく事の方が、ずっと大事だと思っています。

大人がいくら禁止しても、より危険で、より見つかりにくい所へ流れていくだけです。事態はより深刻に、より陰湿になります。ただ、便利だからと言って何も教えず、子供に包丁を手渡す人はいないでしょう。基本的な使い方を教え、後は経験して小傷を作りながら自分で学んでいくしかありません。（私など未だに指先をチョンと切ることがあります）

学校でもしっかり教えていきます。私個人としても一人の大人として、価値観の押し付けではなく、人生をかけて身に付けた知恵、そして大人としてのプライドで子供には話していきたいと思っています。「AIもSNSもインターネットも便利。便利だけど一歩間違えると大げがどころか、人生を狂わせてしまうこともあるよ。だから情報は鵜呑みにしないこと。決して自分の保身のためや誰かを貶(おとし)めるために使わないこと」と。



2月4日（水）、新一年生入学説明会および体験入学を実施しました。令和8年度の入学予定者は、現在のところ1名です。

説明会では、本校の教育活動紹介、入学期の心得、保健関係等について、学校長や1・2年担任、養護教諭から保護者へ説明させていただきました。

同時に行われた体験入学では、学校探検しながら、風揚げやお店屋さんごっこ、宝探し、おにごっこ、一緒に歌を歌うなどして、楽しくふれあうことができました。新一年生の入学を全校児童で楽しみにしています。



R7年度 卒業式について

子供たちの門出を祝っていただく、地域の皆様に御案内いたします。

◆R7卒業式 3月24日（火）午前10時～
卒業式は、1名の子供の晴れ舞台となります。御出席される場合は、本校体育館にて、受付をお願いいたします。



AED 校舎外設置しました!



この度、本校ではAED（自動体外式除細動器）を校舎外の正面玄関横に設置致しました。休日や夜間、地域行事の際にも迅速に使用できるよう御活用ください。



児童集会～1・2年生の発表～

音楽や国語、最後はみんなで「おおなみこなみ♪」の発表をしてくれました。



田中一村記念 スケッチコンクール 入選おめでとう

岩本克己さん
實島央道さん
盛瑛翔さん
それぞれ素敵な島の風景を描いて入選しました。



3月行事

25	24	23	20	18	16	13	12	9	5	4	3月
水	火	月	金	水	月	金	木	月	木	水	
修了式・大掃除・離任式	卒業証書授与式	卒業式全体練習Ⅳ	祝日 春分の日	卒業式会場準備	力作り（中・高学年）	お別れ遠足（6年生を送る会）	卒業式全体練習Ⅲ（予行）	移動図書	劇団四季鑑賞	後期委員会活動反省	卒業式全体練習Ⅱ

